52. 虚血性心疾患に対する ^{99m}Tc-MIBI 心筋シンチグラムの有用性の検討

井上　亨　三ツ浪健一　木之下正彦
（滋賀医大・一内）
鈴木　輝康　森田　陸司　（同・放）

新しく開発された心筋血流製剤 Tc-99m MIBI を用い安静時，および運動負荷時に SPECT 像を撮像し，Tl-201 の安静時初期像，遅延像，運動負荷時初期像，遅延像における灌流欠損との対比比較を行った．また MIBI 安静時に心電図同期 SPECT 像を撮像し，局所の Systolic Thickening についての意義を検討した．対象は冠動脈疾患 8 例で，1 枝病変 2 例，2 枝病変 3 例，3 枝病変 3 例，また梗塞の既往は 4 例であった．心基部より及び心尖部よりの短軸断層像を 6 分割し，それに心尖部を加えた 13 部位について，0 (Normal)～3 (Defect) の 4 段階に分類し評価した．MIBI と Tl の安静時，負荷時の SPECT 像の一致率はそれぞれ 93%，90% となり，よく一致していた．不一致例では Tl の欠損の程度が大きくなる傾向が認められた．また MIBl 安静時像と Tl 安静直後像が同等の評価で Tl 安静遅延像で再分布の見られた症例が 8 例のうち 2 例 (5 部位) に認められ，灌流状態からみた Viability の評価は，MIBI は Tl に比べ過小評価される場合があった．心電図同期 SPECT 像から 72 部位についてシネモードを用い視覚的に左室局所の Systolic Thickening を (Normal), (Reduced), (Severely Reduced) の 3 段階に評価した．(Reduced) の 8 部位のうち 2 部位 (25%) は梗塞部で，灌流欠損が 2 部位 (25%), 運動負荷 Tl シンチで再分布が認められた部位は 6 部位 (75%) に認められた．(Severely Reduced) は 6 部位あり，そのうち 4 部位 (67%) は梗塞部位であり，5 部位 (83%) は Defect で再分布を認めたのは 1 部位 (17%) だけであった．MIBI 心電図同期 SPECT 像から評価した心筋 Systolic Thickening は心筋の Viability の指標の一つになり得る可能性のあることが示唆された．

Presented by Medical*Online